

(ご参考①) 平成22年度実績と中期経営計画の概要

平成22年度 経営方針：「変化の先を読み、新たな規制・競争環境においても着実な成長を実現するビジネスモデルへの転換を図る」「リスクリターン・コストリターンを重視し、アセットクオリティの改善と経費・クレジットコストのコントロールを徹底する」

平成22年度の連結当期純利益は、SMBCの業績が好調に推移したことや、グループ会社の業績も堅調であったこと等から、前年比 +2,043億円の増益。

海外業務において拠点網や対応組織の拡充等を進めるとともに、SMBC日興証券においてSMBCとの連携体制やホールセール証券業務を強化。また、「グローバルプレーヤーとしてのビジネス展開」に向け、11月にはNYSEに上場。

強靭な資本基盤の確保

●順調な業績

(SMBC単体)

業務粗利益	マーケティング部門は略計画通り
	市場営業部門は前年比、大幅な上振れ
経費率	前年比、低下
クレジットコスト	前年比、大幅に減少

(SMFG連結)

当期純利益	SMBCの増益を主因に、前年比大幅な増益
Tier I比率	12.47%に上昇(H23/3月末) (速報値)

●NYSE上場の実現(H22/11月)

着実な成長を実現する事業ポートフォリオの構築

●グローバルマーケットにおける特定分野

・拠点網・対応組織の拡充、資本業務提携の推進

●ホールセール／リテール証券業務(SMBC日興証券)

- ・エクイティ業務の強化、海外展開等の推進
- ・SMBCとの連携を強化

●セディナ連結子会社化(H22/5月)、完全子会社化(H23/5月)

	(億円)	
	22年度	前年比
(SMBC単体)	業務粗利益	15,318 + 765
	経費	▲ 6,992 ▲ 134
	＜経費率＞	45.6% △ 1.5%
	業務純益*	8,326 + 631
	与信関係費用	▲ 943 △ 1,604
	当期純利益	4,212 + 1,032
(SMFG連結)	当期純利益	4,759 + 2,043

* 一般貸倒引当金繰入前

中期経営計画(平成23～25年度)の概要

経営方針

「先進性」「スピード」「提案・解決力」の極大化により
「最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループ」を目指す。

コーポレートスローガン:
LEAD THE VALUE

今後3年間で目指すべき方向性

金融面でのプロアクティブな支援を通じ日本の復興に貢献

中期経営計画

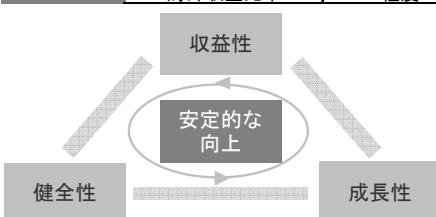
経営目標

- ✓ 戦略事業領域におけるトップクオリティの実現
- ✓ 新たな規制・競争環境に対応した財務体質の実現

平成25年度 目標値	コアTier I比率	8%程度
	連結当期純利益RORA	0.8%程度
	連結経費率	50%台前半
	単体経費率	40%台後半
	海外収益比率	30%程度

財務目標

- 「健全性」「収益性」「成長性」のバランスの取れた安定的な向上を図る。
- ・グローバル金融グループに相応しいコアTier I比率
 - ・アセットクオリティを高め、リスク・リターンの更なる向上を実現
 - ・グローバル金融グループの中でトップレベルの効率性を追求
 - ・アジアを中心とする海外の成長を捕捉し、海外収益力を増強



戦略事業領域

- ・個人向け金融コンサルティングビジネス
- ・法人向けトータルソリューションビジネス
- ・アジアを含む新興国における商業銀行業務
- ・証券・投資銀行業務
- ・非アセットビジネス(決済・アセットマネジメント等)

企業基盤

- ・グループ経営強化
- ・グローバル化推進
- ・業務効率化